



学校だより

令和8年1月30日(金)
第868号
さいたま市立日進小学校
TEL: 663-6942

何度でも何度でも

校長 鈴木 晴雄

3学期が始まり早くも2月。我々教職員は、本年度取り組んできた教育活動を振り返ると同時に、新年度に向けた新たな構想を練る時でもあります。11月末には「学校評価に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。皆様に御回答いただいたアンケート結果や内容を次年度の教育活動にいかしてまいります。

新年を迎え3学期をスタートした子どもたちは、めあてや目標を立てました。

【学習面・運動面】

- 音読名人になる。 ○読書を1日に30分する。 ○リコーダーを上手になる。
- 難しい問題にもチャレンジする。○跳び箱を跳べるようチャレンジする。
- 体カテストに向けて縄跳びやマラソンに取り組む。

【生活面】

- チャイムが鳴る前に席に着く。 ○挨拶・靴揃え・手洗いを意識して過ごす。
- 相手を思いやり、感謝する。 ○何事もあきらめずに挑戦する。
- 休み時間と授業のメリハリをつけて行動する。

子どもたちが立てためあて・目標には、チャレンジ・挑戦という言葉が数多く見られました。チャレンジ・挑戦をする過程で、多くの失敗や挫折と出会うでしょう。失敗することは、傍らから見たらかっこ悪いことかもしれませんが、それをかっこいいことに変化させるのは、「もう1回」という飽くなき挑戦と想いなのではないでしょうか。苦しい状況では、つい弱腰になってしまいます。そんな自分に悔しさや焦りを感じながらも、心を奮い立たせて、また立ち上がる。「何度でも」決して諦めず挑戦し続けるひたむきな強さが、子どもたちの限らない可能性と夢を広げてくれることでしょう。

悔しくて苦しくて がんばってもどうしようもない時も

きみを思い出すよ

10000回だめで へとへとになっても

10001回目は 何か 変わるかもしれない (中略)

落ち込んでやる気ももう底ついて がんばれない時も

きみを思い出すよ

10000回だめで かっこ悪くても

10001回目は 何か 変わるかもしれない (DREAMS COME TRUE 『何度でも』)

「やれなかったのか」「やらなかったのか」。この2つの言葉は、たった一文字しか違いありません。しかし、その意味には大きな違いがあります。子どもたちの1万回という途方もない数への挑戦を、保護者・地域の皆様と共に支え励ましてまいります。引き続き、御支援御協力をよろしく願いいたします。

最後に、5年生が最高学年に、6年生が卒業に向けて書いた思いを紹介します。

- 1～4年生のおお手本になるためにマナー・ルールを守って生活する。(5年生)
- 日進小を引っ張っていけるように笑顔で頑張りたい。(5年生)
- 6年生に任せてもらえるような5年生になる。(5年生)
- 行事を全力ingでやり、いい思い出をたくさん作る。(6年生)
- かっこいい6年生になり卒業する。(6年生)
- 卒業式で有終の美を飾って終わりたい。(6年生)

